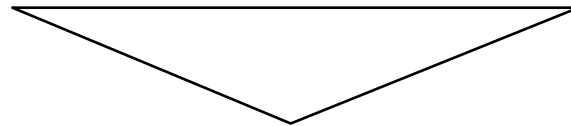


第24回新しい資本主義実現会議 提出資料

2024年2月27日
株式会社経営共創基盤 IGPIグループ会長
富山和彦

現在地の確認

- 「賃上げ」は確実にムーブメントになりつつある
 - － 人手不足圧力は凄まじい→賃上げは中堅中小でも生き残りの条件
 - － 統計数字への違和感
- 事業再編・企業再編、ジョブ型シフト(企業側、働き手側の両方)、積極的労働移動(特に若手層)の気運も盛り上がっている
- 資本市場の活性化、企業価値向上、資産所得向上の気運も生じている



シーソーは倒れ掛かっている

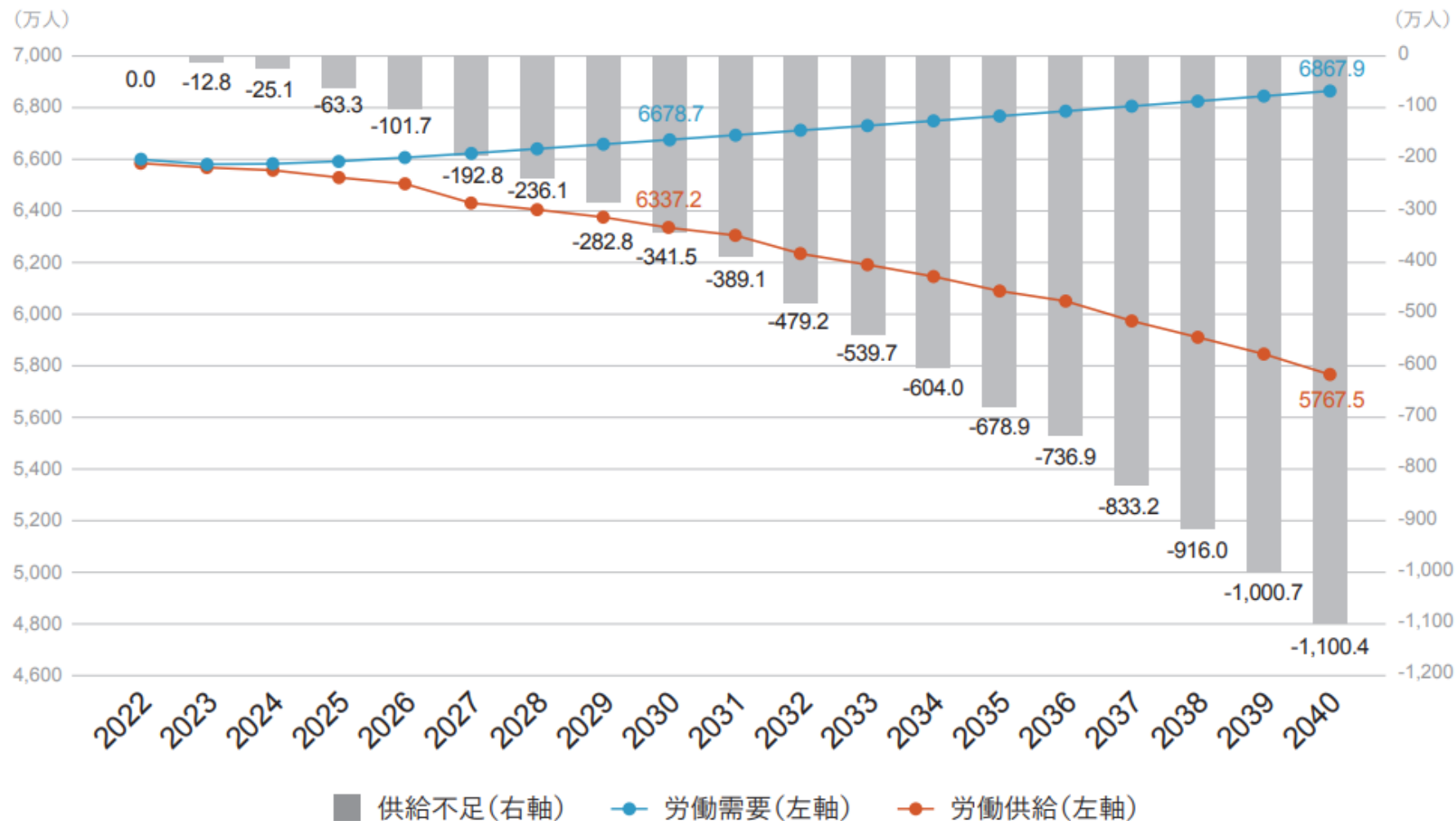
賃金抑制で労使共に生き残るデフレモード戦略



賃金上昇で労使共に勝ち抜く労働供給制約モード戦略

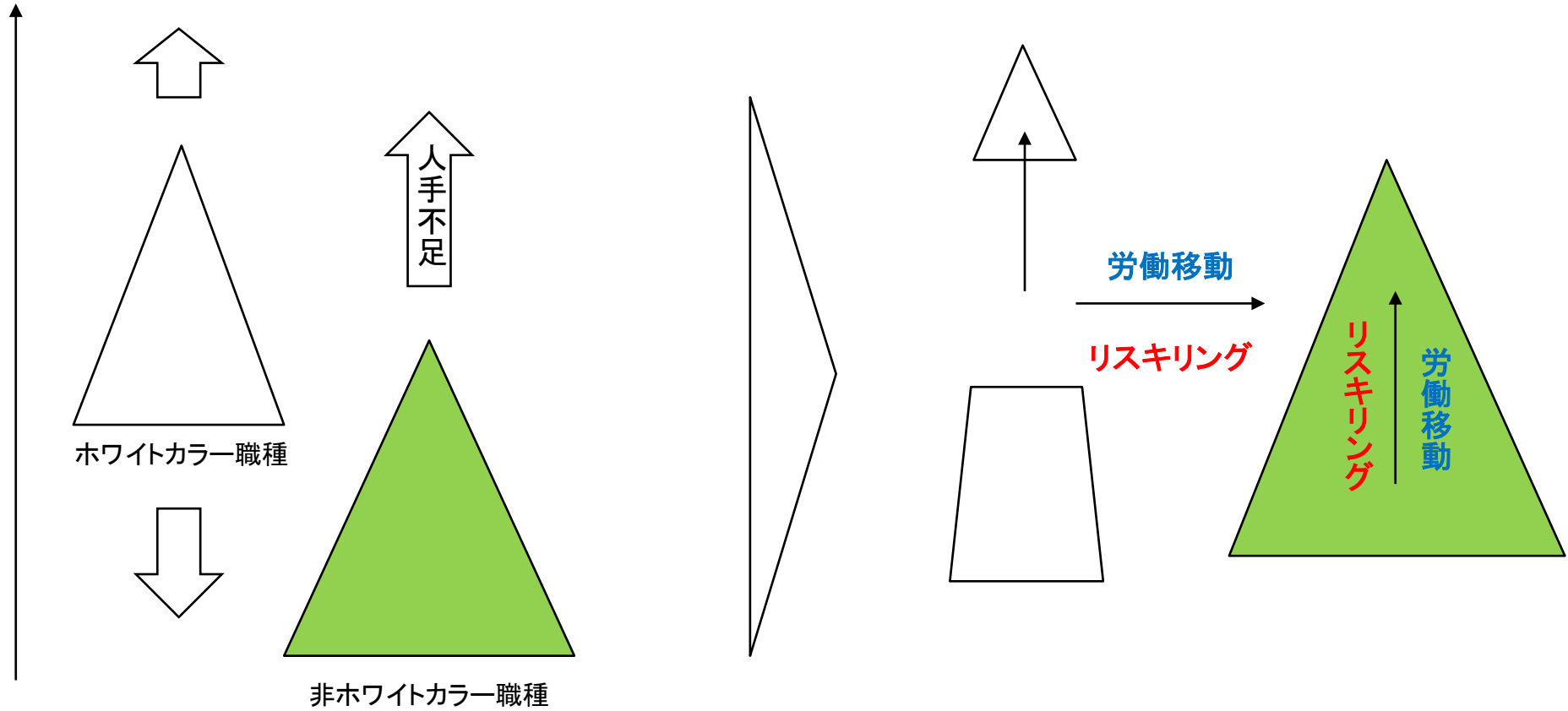
人手不足は長期化・深刻化する(今はまだ序の口)

◆ 労働需給シミュレーション



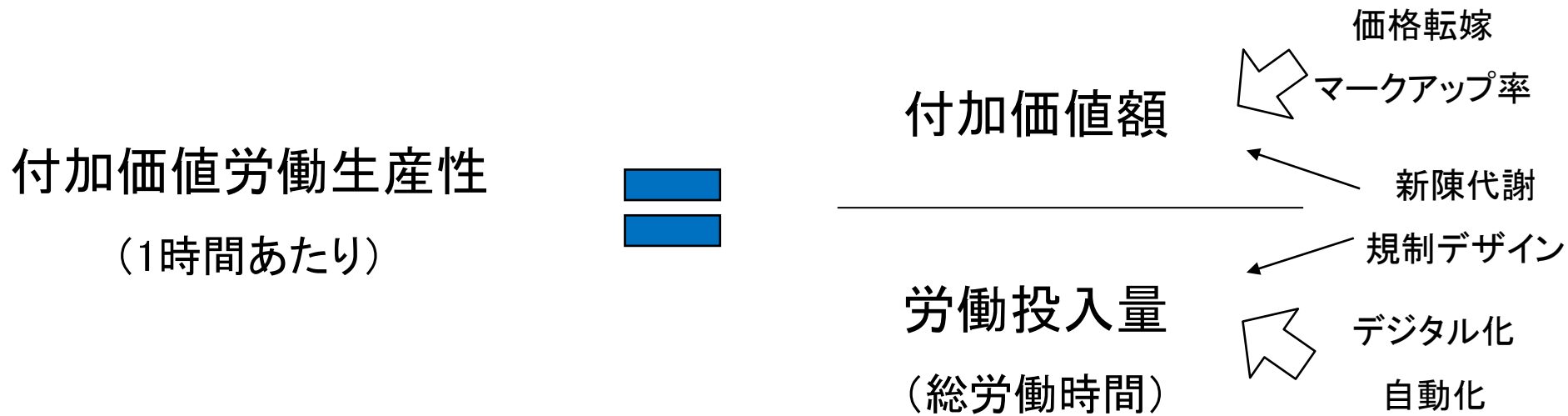
AI×労働供給制約時代のジョブシフトと賃金上昇

労働生産性(賃金)



付加価値労働生産性の時代：イノベーションと新陳代謝で高労働生産性、高賃金経済へ

- ◆ 労働供給制約の時代、唯一有効なマクロ政策は付加価値労働生産性の向上
- ◆ 構造的、恒久的な人手不足の時代、労働生産性向上で困る人はいない
- ◆ 我が国の労働生産性の低さは伸びしろの大きさ(ロー・ハンギング・フルーツの宝庫)



※付加価値額 ≒ 粗利 ≒ 売上 - 変動経費(原材料費・運送費など)

付加価値労働生産性 × 労働分配率 ≒ 賃金

付加価値労働生産性 × 総労働時間 ≒ GDP

労働供給制約と持続的賃金上昇の循環構造に向けて布石は打たれている

